

2018年6月1日から西暦2019年12月31日に、当院で負荷あり心臓CT検査を受けた方へ

研究実施のお知らせ

放射線室では、西暦2018年6月1日から西暦2019年12月31日までの期間に、当院で負荷あり心臓CT検査を受けた患者さんを対象に、負荷あり心臓CT検査の有用性について検討する研究を行います。この研究は、桑名市総合医療センター倫理審査委員会の審議に基づき、病院長の許可を得て実施するものです。

このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報公開をすることが必要とされております。

研究の題名 : 負荷あり心臓CT検査の有用性についての検討
研究期間 : 2019年11月19日～2020年3月31日
研究機関長の氏名 : 桑名市総合医療センター 病院長 市川 毅彦
研究責任者 : 桑名市総合医療センター 放射線室 三島みづき

【研究の目的と意義について】

当院では心筋の虚血が疑われる患者様には負荷ありの心臓CT検査を行っている。この検査において虚血が見つかった場合、冠動脈カテーテル検査が実施され、ほとんどの症例においてPCIが施行されている。すなわち負荷あり心臓CT検査で虚血を発見できれば、その後の治療の必要性の有無が判断できるのではないかと考えられる。そこで負荷あり心臓CT検査の有用性をデータとして示せれば、その有用性が証明できるのではないかと考えた。

【研究の方法について】

対象は当院において負荷あり心臓CT検査を実施したすべての患者様。そのうち検査で虚血が疑われ、心臓カテーテル検査を行ったすべての患者様のデータを使用して、負荷あり心臓CT検査において虚血が疑われ、PCIまで施行された患者の割合を調べると同時に、その有用性を検討します

またこの研究は、実際に撮影された検査データを使用するため改めて患者様に行っていただくことはありません。

【個人情報の保護について】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表（学会や論文等）に際しても、個人が特定さ

れない形で行います。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報を利用しないようにいたします。情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なくご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は以下の連絡先までお申し出ください。

【問い合わせ等の連絡先】

〒511-0061 三重県桑名市寿町 3-11

桑名市総合医療センター 放射線室 三島 みづき

電話 0594-22-1211 (代表)